

神奈川県の科学技術政策

神奈川県の特徴

- 面積：第43位（約2,416km²） 人口：第2位（約915万人）
（面積：平成29年10月1日現在）
（人口：平成29年10月1日現在 平成27年国勢調査結果に基づく推計人口）
- 約33万人の研究者・技術者が在住（全国トップクラス）
（平成27年国勢調査抽出詳細集計結果）
- 多くの大学が立地（68の大学のキャンパスが県内に存在）
- 世界的に最先端をいく国の研究機関が立地
（理化学研究所、宇宙航空研究開発機構、海洋研究開発機構等）

総合政策課の取組

- 県試験研究機関や県立産業技術総合研究所（KISTEC）の研究活動等を支援
（総合調整など）



マイクロプラスチック（環境科学センター）



カバツウニ（水産技術センター）

- 県試験研究機関等の特許等維持管理（樹木の樹体ジョイント仕立て法など25件）
（平成30年4月1日現在）
- 県有の知的財産の活用推進
- 将来の科学技術人材の育成

なるほど！体験出前教室

様々な分野の研究者を小中学校に派遣し、人工の雲やリニアモーターカーを作るなどの体験型授業を行います。



かながわサイエンスサマー

県内の科学館、大学、研究機関、企業などの機関が夏休み期間中に科学講座や体験教室を開催します。





神奈川県の科学技術政策推進体制

県試験研究機関等

(地独) 県立産業技術総合研究所 (KISTEC) ※
海老名本部 溝の口支所



※ 平成29年4月1日
(公財)神奈川科学技術アカデミーと
県産業技術センターが統合独法化

自然環境保全センター



畜産技術センター



温泉地学研究所



水産技術センター



農業技術センター



環境科学センター



衛生研究所



3つの特区の推進

県では、現在、「京浜臨海部ライフィノベーション国際戦略総合特区」「さがみロボット産業特区」「国家戦略特区（東京圏）」の3つの特区の指定を受けています。この3つの特区での規制緩和等を通じた産業の活性化の取組により、県内の「経済のエンジン」を回していきます。

